

# 令和5年度 政務活動報告書

会派・議員名 夢と希望あふれる栃木を創る会 あべひろみ

日付	項目	活動内容・成果 等
7月18日	3・4・11号赤間々今中線 (主要地方道今市氏家線) 日光市清原町街路事業 事業説明会	<p>〈主な訪問先〉 日光市役所庁舎</p> <p>〈調査事項〉 日光市今市地域の清原町交差点から荊沢交差点までの「赤間々今中線」についての今後の整備事業について、説明会が行なわれた。</p> <p>〈参加者〉 日光土木事務所、地元住民の皆さん、日光市</p> <p>〈成果・課題 等〉 地域住民に欠かせない道路でありながら、朝夕の通勤通学時間帯は、車はもとより歩行者や自転車の通行も非常に多く、沿道の北側は歩道があるものの幅員が狭く、沿道の南側は住宅地にもかかわらず、歩道自体が整備されていない。小学生が通学に利用するバス停は、安全に乗り降りするためのスペースも確保できておらず、非常に危険な状況であり、日光市からも早期の歩道整備について要望が出されている。</p> <p>今後は、路線測量、設計等に着手し、令和6年、道路拡幅に伴う都市計画法の許可申請を予定しているとのこと。一日も早く、市民が安心して通行できる道路整備を望む。</p>
7月27日	小来川山久保地区 危険箇所調査	<p>〈主な訪問先〉 日光市小来川地区センター、小来川地区各所</p> <p>〈調査事項〉 日光市小来川地区の、地元住民から要望のあった、整備が必要な道路各所の現地調査を行った。</p> <p>〈参加者〉 日光土木事務所、県西環境森林事務所、日光警察署、小来川地区自治会協議会、山久保自治会、日光市</p> <p>〈成果・課題 等〉 斜面の崩落の危険、アスファルト破損箇所、河床の石積破損、グレーチングにゴミが溜り浸水の危険、等々、整備を必要とする箇所が多数あった。</p> <p>今後速やかな、道路拡幅、整備、補強等、工事が進められることを望む。</p>

7月31日	令和5年度 栃木西部・会津南道路整備 促進期成同盟会通常総会	<p>〈主な訪問先〉          藤原町公民館会議室</p> <p>〈調査事項〉          関係省庁への道路整備の促進及び財源確保に関する要望活動          道路整備に関する調査研究</p> <p>〈参加者〉          日光市長、南会津町長、栃木県議、福島県議、日光市議、          南会津町議、県土整備部、関係地区自治会長 等</p> <p>〈成果・課題 等〉          国道121号日光藤原地区・川治地区において、自然災害に強い道路ネットワークとなる、走行性の改善による観光の活性化、救急医療施設への代替性向上を目的とした3.4Kmのバイパス、日光川治地区防災の路線計画が着々と進行している。          今後、地域の主要道路である会津南道路の整備促進・調査研究に力添えしていきたい。</p>
2月5日	栃木県議会・茨城県 森林・林業・林産業活性化 促進議員連盟による「那珂 川『森林と水』こだわり 交流会	<p>〈主な訪問先〉          ホテル東日本宇都宮・栃木県林業大学校</p> <p>〈調査事項〉          ・県産材の利用促進や林業のAI活用、後継者養成。山林の維持管理などについて、意見交換          ・「栃木県林業大学校」視察</p> <p>〈参加者〉          栃木県茨城県議連メンバー、両県関係職員、北茨城市・常陸太田市・常陸大宮市・那珂市・大子町の森林・林業・林産業活性化促進議員連盟会長</p> <p>〈成果・課題 等〉          「グリーン成長の実現に向けた木材利用の拡大」をテーマに両県の取り組み状況について説明を受けた後、意見交換が行われた。交流会では森林資源の循環利用促進など計6項目の活動を宣言。          令和6年4月開校の「県林業大学校」を視察。          栃木県の森林面積は、県土の約54%を占め、木材の生産や地球温暖化防止、水源の涵養、生物多様性の保全などの機能を有しており、私たちの生活に欠かすことのできない重要な役割を果たしている。しっかりと守り育てていかなければならない。</p>